

犬山らしさについての考察

「犬山らしさ」を考察する際には、自然・歴史・文化・社会の様々な面からの考察が必要。

自然

犬山扇状地：木曾川が濃尾平野に流れ出る扇頂。木曾三川最大の扇状地。

日本ライン・白帝城：ライン川、長江に例えられる豊かな川の流れ。

* 荻生徂徠、志賀重昂

郷瀬川の桜並木

歴史

木曾川の物資の集散地（材木町）

尾張・美濃の国境にある天然の要害に城下町を形成（織田氏）

幕府直参の重臣（付家老）→犬山藩・犬山県（成瀬氏）：独立の気風

日本ラインを資源に尾張奥座敷としての観光地を形成

文化

犬山鶴飼：1300年に及ぶ鶴飼（鶴飼町）

日本ライン下り

犬山祭（以前は山車を活用した川祭りも開催）

社会

木曾の水の中継点

* 愛知用水、県営上水道、名古屋上水道、濃尾用水の取水口。

* 犬山頭首工

国内最大級の農業ため池（入鹿池、世界かんがい施設遺産）

堀川開削：犬山、名古屋、熱田を結ぶ大水路（舟運、かんがい）

環境省の名水百選

産物

守口大根（木曾川のめぐみ）、桃、豆腐（田楽）、蒟蒻、鮎、地酒、地ビール

以上から、一貫して「川」＝「水」がテーマとして浮かび上がる。

<重点整備エリア1>

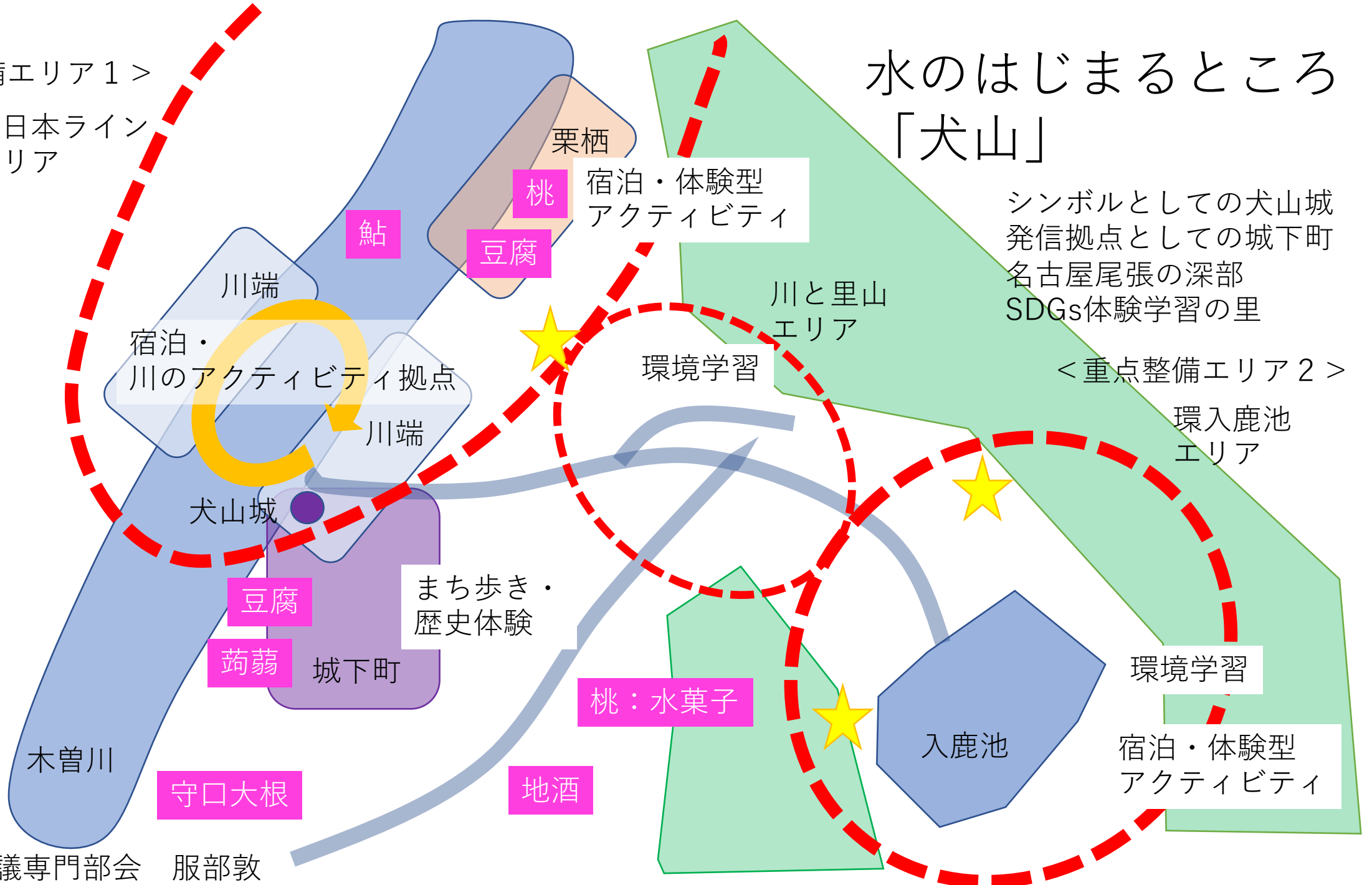
環日本ライン
エリア

水のはじまるところ 「犬山」

シンボルとしての犬山城
発信拠点としての城下町
名古屋尾張の深部
SDGs体験学習の里

<重点整備エリア2>

環入鹿池
エリア



栗栖
桃
豆腐
宿泊・体験型
アクティビティ

川端
宿泊・
川のアクティビティ拠点
川端

環境学習

犬山城
豆腐
蒟蒻
まち歩き・
歴史体験
城下町

桃：水菓子

環境学習
宿泊・体験型
アクティビティ

入鹿池

守口大根

地酒